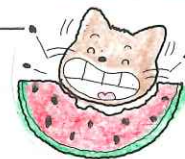


祖峰っ子

2021年7月20日
文責：校長 桑島真弓

いよいよ2020東京オリンピックが
開会しますね。様々な問題が
次々と出ていますが...選手皆さん
が力を出しきれますように応援します。

授業風景 7/19(月)



にっくき雨め!! 河川プールに全校みんなで川遊びに行く予定が、雨天のために中止となってしまいました。残念ですが、仕方ありません。そこで、各教室では、何をしているのか? ちょっと、のぞいてみました。

(6年生)



高山展に間に合わせようと
大いそぎで色ぬりをしていました。

(5年生)



「グーグルマップを使って
世界の観光地をめぐる」
楽しそうですね。

(3・4年生)



こちらも高山展に向けて色ぬり
にがんばっています。

(2年生)



国算ドリルを自分の
ペースで、どんどん進めて
いました。

夏 第15回 俳句教室

俳句って
すばらしい!!

7月15日(木)、講師に伊藤信一郎
さんをお迎えして、毎年恒例となっ
ている俳句教室を開催しました。今回で
15回目にもなるのだそうです。

- まず最初に俳句づくりで大事なことを確認しました。
- ①五七五でつくる
 - ②季語を入れる
 - ③思ったことを素直に書く、
 - ④何度も考える(言葉をかえてみる)
 - ⑤気持ちを書かずに気持ちを表す。

その後、子どもたちが事前に作った俳句を伊藤さんに評価していただきました。どの俳句もそれぞれの個性が垣間見えて、季節(夏)を感じさせるすてきな作品となっていました。以下、低・高学年別選ばれた作品です。

- (低学年の部)
- あさがおに なつのかぜを あたえによ
 - 夏休み はやくこいこい わくわくだ
- (高学年の部)
- 夏まつり 花火がドカンと なりひびく
 - 風鈴の 音色につられて ハエがくる



校長室で俳句についてのお話をしている時に、伊藤さんが感銘を受けた小学生の俳句を紹介して下さいました。

☆天国は もう秋ですか お父さん
(たった17音の中に、亡くなった父親への思いが切なく心に響きますね。)

最後に私が前任校で思わず突ってしまった俳句を紹介します。

◇ 夏休み ぐうたらぐうたら あきました (県俳句大会で入賞)

俳句の魅力は、①感受性が育つ ②言語感覚が豊かになる、ことです。次回の俳句教室も楽しみにしています!! (TV「プライベート」の俳句もおもしろいですよ。)

(夏井 いつき先生の解説が勉強になります!!)

(1年生)



かちんぽん国語のテストに
がんばっているところでした。



7/18(日)入田河川プール開き神事に参加
しました。この夏、河川プールで事故なく、
みんなが楽しめますようにお祈りしました。



↑ 入田市長さん 本郷 (市議会議員さん) 後藤 (市議会議員さん)

児玉
自治会長さん